

# 検定試験の自己評価シート

検定試験の自己評価に関する研究会

# 検定試験の自己評価シート

自己評価実施日:平成 30 年 3 月 20 日

検定事業者名: 公益財団法人フランス語教育振興協会

検定試験名: 実用フランス語技能検定試験

**【5段階評価の目安】**

A:十分達成されている B:おおむね達成されている C:一部達成されている D:あまり達成されていない E:ほとんど達成されていない

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価	
1 実施主体	① 組織	【評価の視点】 組織としての理念・目的が明確であり、検定試験を継続的・安定的に実施するために必要な組織体制や財務基盤を有するとともに、実施主体自身がPDCAサイクルに基づき、組織的・継続的に事業を改善していく組織となっていること。また、受検者や利用者(学校・企業等)への適切な情報公開と個人情報の保護がなされていること。			
		1	○検定試験を実施する組織としての理念や目的が明確である。	当協会は、実用フランス語に関する技能検定試験および日本におけるフランス語・フランス文化普及のための事業を行い、もって日本の文化の発展に寄与することを目的とする。また、この目的を達成するために、次の事業を行う。(1)実用フランス語技能検定試験の実施およびこれに関連する業務(2)フランス語・フランス文化に関する出版物の刊行(3)フランス語・フランス文化の普及のための各種事業・行事の助成(4)フランス語教育振興のための各種行事における成績優秀者の表彰(5)その他目的を達成するために必要な事業	A
		2	○検定試験を実施することの社会的使命が明確である。	当協会は、日本におけるフランス語教育の発展と改革、ひいては生涯学習の進展のため、別に定める実用フランス語技能審査基準に従い、その習得した実用フランス語の能力を検定するための試験を行う。	A
		3	○検定試験を実施する組織(役職員体制、事務処理体制、作問体制、危機管理体制等)が、検定試験の目的、使命を達成するための組織として適切に構成されている。	☑役職員体制、☑事務処理体制、☑作問体制、☑危機管理体制 □その他( 役職員体制:役職員の権限及び職務に関しては、「副理事長及び常務理事の職務分掌に関する定め」等において規程し、検定試験の実施運営にあたっての責務を明確にしている。 事務処理体制:事務局の担当部門毎に業務の進捗状況を常に報告、共有し、過去の試験運営実施上で得られた事例を確認しながら、内部チェック機能を強化し、業務にあたっている。 問題作成体制:問題作成委員会規程に基づき、委員会を担当する級毎に3部会構成とし、少人数で適正な問題作成に努めるとともに、部会間で難易度や重複のチェックを絶えず行っている。 危機管理体制:試験の運営、実施に際して、想定される問題に関する緊急対応マニュアルを整備し、不測の事態に適切に対応できる体制を敷いている。また、適切な業務遂行環境を整え、万一のトラブルに備えるため、弁護士との法律顧問契約を結んでいる。	A
		4	○手続等に関する問い合わせ、試験後の問い合わせ先が設置され、受検願書やホームページ等に適切に公開されている。	仏検事務局において、受検者からの種々の問い合わせ(出願手続全般や試験の内容等々)に対応している。ホームページにFAQを提示するとともに、とりわけ出願期間から1次試験開始直前までは別途コールセンターを設け、インターネット申込の操作方法を含む各種問合せに対する体制を整えている。また、事務局の連絡先は、受験要項・願書やホームページ等で周知徹底している。 仏検事務局 (tel)03-3230-1603 (fax)03-3239-3157 ※平日9:00~17:00(土・日・祝日を除く)	A
5	○目標(Plan)→実行(Do)→評価(Check)→改善(Action)というPDCAサイクルに基づき、組織的・継続的に事業を改善している。	仏検事務局に寄せられる受検者、団体・会場責任者からの意見や要望を、試験の運営実施に関する内容であれば実行委員会において、採点や審査に関する内容であれば審査委員会において審議し、その内容をデータとして蓄積し、PDCAサイクルに基づき組織的・継続的に事業改善に努めている。実行委員会は年10回、審査委員会は年4回開催される。	A		

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等	
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価		
1 実施主体	② 財務	6	○実施主体の財務経理情報を備えている。(検定試験を継続して実施している場合には、複数年分。)  (財務経理情報の例) 収支計算書、貸借対照表、財産目録等	<input checked="" type="checkbox"/> 備えている(収支計算書、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書、収支予算書、事業計画書、事業報告書) <input type="checkbox"/> 備えていない	A	外部監査の導入を検討
		7	○財務経理担当者等に対する内部牽制体制が確立されている。	入出金に際しては、経理規程に基づき、各業務の担当者が申請をし、事務局長が内容を確認した上で承認をし、経理担当者が実行する、というステップを設け、業務分掌により不正や誤謬を事前に防ぐための体制を敷いている。また、毎月、税理士による財務、税務相談を受けている。	A	
		8	○財務経理に関して、定期的または適宜監査を受けている。	<input checked="" type="checkbox"/> 受けている( <input checked="" type="checkbox"/> 内部監査、 <input type="checkbox"/> 外部監査、 <input type="checkbox"/> その他 ) <input type="checkbox"/> 受けていない(理由: )	A	
		9	【公益性のある実施主体の場合】 ○検定事業とその他の事業との関係や財務経理情報等の区分けが明確である。	事業毎に会計を明確に区分している。	A	
	③ その他	10	○情報公開する項目や方法などを明確に定めている。	定款において、財務諸表や事業計画、報告書等について「一般の閲覧に供するもの」と規定し、当協会ホームページで公開を行う他、申請に基づき閲覧に供している。  <a href="http://apefdapf.org/apef/association/rapports">http://apefdapf.org/apef/association/rapports</a>	A	個人情報保護に関するプライバシーマーク認定の取得を心がける。
		11	○受検者の個人情報保護に関する方針やマニュアル等が整備されている。	「APEFの個人情報保護方針」を定め、受験者の個人情報を適切に管理している。また、この方針については、ホームページでの公開を行っている。  <a href="http://apefdapf.org/apef/association/donnespersonelles">http://apefdapf.org/apef/association/donnespersonelles</a>	A	

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等	
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価		
<p>【評価の視点】 検定試験の目的や内容が明確であり、これらと整合する適切な測定手法や審査・採点の基準等を有すること。</p>						
2 実施内容	① 目的	12	○どのような知識・技能を測るかという検定試験の目的が明確である。  ○検定試験の内容が以下の点で明確で、検定試験の目的にかなっている。 ＜検定試験で測る具体的な知識・技能とその水準＞ 領域(分野)／対象層(受検資格等)／試験範囲／難易度／その他(特色等)	<p>実用フランス語に関する「聞く」「話す」「読む」「書く」の4つの能力を客観的に評価する。</p> <p><a href="http://apefdapf.org/dapf/presentation/niveaux">http://apefdapf.org/dapf/presentation/niveaux</a></p>	A	<p>学校・教育機関等を対象とした実態についての調査を行い、ホームページ等でその成果を公表する。</p>
	② 内容	13	【他に類似試験がある場合】 ○類似試験との関係性を学習者や利用者に分かりやすく示している。	<p>受験要項及びホームページにて、受験資格、各級のレベル、試験時間、試験内容、問題形式等を明記している。</p> <p><a href="http://apefdapf.org/dapf/info/examens">http://apefdapf.org/dapf/info/examens</a></p>	A	
		14	【学校の単位認定や進学、就職等の際に活用される検定試験の場合】 ○当該検定試験と学校教育や職業能力との関係性が示されている。	<p>専門に偏らない、一般的・実践的なフランス語のコミュニケーション能力を目指し、4つの能力を客観的に評価する実用フランス語技能検定試験は、日本の学習者を対象とする検定試験としては他に類を見ないが、フランス政府が実施しており、ヨーロッパ共通参照枠(Cadre Européen Commun de Référence)に準拠したフランス語圏の国々を中心に普及しているフランス国民教育省認定免状(DELFDALF)との相関について研究し、その特色や目的、レベルの相関の目安を公開している。</p> <p><a href="http://apefdapf.org/dapf/info/examens">http://apefdapf.org/dapf/info/examens</a></p>	A	
		15	○知識・技能の測定手法(筆記試験、CBT試験、実技試験、面接試験等)、審査・採点の基準が適切である。	<p>学校で学ぶフランス語の学習成果の判定にふさわしい客観性を備えた試験として、成績評価、単位認定やAO入試、編入学試験での資格認定の条件として活用されるケースが増えている点について、受験要項ならびにホームページにおいて告知し、受験者からの問い合わせに応じて具体例を紹介している。また、フランス語圏との関連が深い企業や国際協力団体等での就職・昇進等にかかる要件として当検定が用いられる事例も少なくない。情報公開が可能な範囲で個々の事例を「合格者の声」としてホームページで公開している。</p> <p><a href="http://apefdapf.org/voix">http://apefdapf.org/voix</a></p>	A	
2 実施内容	③ 手段	16	○試験結果から得られるデータ等に基づき、検定試験の内容や測定手法、審査・採点基準等について、質の確保や継続的な改善を図っている。	<p>「仏検審査基準」に基づき、専門家(有識者)によって組織された審査委員会において、各級とも「聞く」「話す」「読む」「書く」の4能力を総合的に有していると判断された場合を合格とする。</p> <p>なお、採点に関しては、大学教員を中心に組織された採点委員が、採点基準(非公開)に基づき、ダブルチェックを課し、公平に採点を行っている。</p>	A	
	④ その他	17	採点後の統計資料をもとに、受験者の解答状況を分析し、その内容について審査委員会で検討した上で、問題作成委員会に報告し、継続的に問題作成や測定方法の改善に取り組んでいる。	A		

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価	
3 実施 手続	① 事前 準備	【評価の視点】 事前準備、事後対応を含め、適正かつ公正で透明性の高い検定試験の実施体制を有するとともに、受験手続を明確にした上で目的や内容、規模等に応じた適切な取組を行っていること。			
		18	○試験の実施規則・要項等の受験手続が定められている。	内部規程で受験手続きを定めており、受験要項・願書、ホームページ、団体受験申込案内等にて周知を行っている。  http://apefdapf.org/dapf/cheminement/global	A
		19	○試験実施前の情報管理対策(情報管理マニュアルの整備や担当者への研修・注意喚起など)が講じられている。 (例) 試験問題、解答等の作成、印刷、搬送、保管	問題作成にあたっては、問題作成委員会において級毎に部会を設置し、担当部会の限られた委員のみが情報を共有する。委員との連絡を受け持つ事務職員は1名に限定し、作成中の問題案は厳重に保管している。印刷業者とは秘密保持に関する契約書を結び、原稿のやり取りは紛失することのないよう手渡しで行う。試験資材の搬送は試験の1週間前に行い、全国の会場責任者と引渡書、受領書、内容物確認書を取り交わす。会場責任者は、試験当日まで資材を施錠できる場所で保管している。	A
		20	○受験者に対し十分な出願期間が確保されている。	年2回(春季・秋季)とも、大学や高校の学事日程にそうように受付を開始し、それぞれ1ヶ月半の出願期間を設けている。なお試験日程の告知は前年12月よりホームページにて行っている。	A
		21	○受験料の適正性・妥当性について点検・検証されている。	検定試験を安定的に継続して実施できることを前提に、常に受験者の立場に立ち、受験者の利便性を高め(一般会場の拡大、準会場受験の促進、インターネット申込・合否結果閲覧システムの拡充等)、事業開発・改善(受験機会の増加、受験結果に関する詳細なデータ提供、Eラーニング等の学習コンテンツの開発等)に係わる準備資金を確保しつつ、収支相償の原則を守る。	A
		22	【学校の単位認定や進学・就職等の際に活用される検定試験の場合】 ○児童・生徒等が不利益を被らないように、配慮がなされている。	<input type="checkbox"/> 全ての児童・生徒に対して公平に情報提供されるよう配慮されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施時期への配慮がされている。 <input type="checkbox"/> その他( )  大学や高校における成績判定での活用を促進するため、合否結果の発表を学事日程に合わせて行えるよう日程を調整している。	A
23	○その他の特記事項等。	・特約書店や大学生協での出願受付を行っている。団体受験・準会場受験による受験者には、人数に応じた割合で検定料の一部を還元している。 ・2012年度よりインターネットでの申込受付を開始した。 ・事務局がツイッターを用いて出願や受験に関する即時性のある情報を随時発信している。	A		

仏検を活用したEラーニング教材の開発および団体出願に対応したインターネット申込システムの改修

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等	
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価		
3 実施 手続	② 試験 実施	24	○試験監督業務のマニュアル等が定められており、試験実施会場・機関に事前に配付されており、試験監督者等の共通理解が図られている。	「試験会場運営責任者マニュアル」「試験監督マニュアル」「受付・連絡係マニュアル」を毎季更新作成して全国の会場に試験実施前に資材と共に配布し、説明、指導を徹底するとともに、定期的に会場責任者へのヒアリングを実施し、寄せられる意見や要望をもとに実施体制の改善を図っている。	A	リアルタイムで全国の会場の実施状況を案内できるようにホームページを整備する。  聴覚障害者へのテロップ問題の導入を検討する。
		25	○受検者の本人確認は、顔写真を添付した受験票の用意や身分証による照合など、本人確認が確実に行われるよう講じられている。	受験者は一律に写真付身分証の持参を義務づけ、それが写真付でない場合は受験票に顔写真を貼付することとしたうえで、試験中に試験監督が教室を回り、一人一人身分証との照合を行う。	A	
		26	○試験当日、天災や交通機関の遅延等があった場合には、試験開始時刻の変更や再受検の容認など、受検機会が確保について配慮されている。	天災や交通機関の遅延等で大幅に遅刻、あるいは会場にたどり着くのが困難な場合には、その規模や影響度に応じて、一律、もしくは受験者からの申請に基づき、次回への振替受験によって対応している。	A	
		27	○障がい者について、検定試験の目的や内容、規模等に応じた一定の配慮が考慮されている。	視覚障害者に対しては、障害の度合いに応じて問題冊子、解答用紙を拡大印刷したり、点訳する等の配慮をしている。聴覚障害者に対しては、試験問題の一部(聞き取り・書き取り試験)を免除し、筆記試験の得点を基に合否を判定している。また、足の不自由な受験者には、バリアフリーの会場、教室を用意し、車いす用の机で受験していただいている。その他、筆記障害、精神障害等についても、会場責任者との連携の下で個別対応を旨とした受験機会の提供に努めている。	A	
		28	【試験監督者の外部委託等を行う場合】 ○外部受託者等(法人・個人等)を総括する責任者が配置されている。	東京・神奈川・千葉会場に関しては、試験監督の採用を担当する当協会職員が、採用責任者として募集を行う。地方会場では、事前に任命した会場責任者に採用を一任している。	A	
		29	【試験監督者の外部委託を行う場合】 ○受検手続きに関する共通理解を図り、円滑に試験監督業務を遂行できるよう試験監督者への説明・研修が実施されている。	試験実施前に予め試験監督マニュアルを配布し、当日、会場責任者がマニュアルをもとに確認を兼ねた説明、指導を行っている。	A	
		30	【試験実施会場として学校や民間教育施設等を活用している場合】 ○公平性・公正性が確保(試験日、試験監督の体制、試験会場に試験に関する掲示物が無い等)されている。	実施会場の環境の公平性・公平性の維持を会場責任者マニュアルに記載しその徹底を図っている。また、とくに所属する学校を会場として団体で受験する場合には、「準会場取扱契約書」の規程に従い実施している。	A	
		31	○その他の特記事項等。	小さな子どもが受験する場合には、問題指示文にふり仮名をふる等の対応をしている。	A	

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等	
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価		
3 実施手続	③ 事後対応等	32	○試験結果に関する一般情報(受検者数及びその構成、合格者数、合格率等)が、適切に公開されている。	受験要項、およびホームページの「仏検データブック」にて級別出願者数および合格者数の動向や合格基準点、合格率等を公開している。  <a href="http://apefdapf.org/dapf/presentation/statistiques">http://apefdapf.org/dapf/presentation/statistiques</a>	A	受験者へのより詳細な結果データの開示  2次試験(1級・準1級・2級・準2級)の問題サンプルを追加する
		33	○受検者への学習支援の観点から、試験問題や正答が公開されている。 (ただし、試験の性質上、公開することができないものを除き、事後の作問等に影響を及ぼさない範囲で)	受験者は試験終了後に問題冊子を持ち帰ることができ、正解例は受験者全員に会場で配布している。また正解例は試験終了の翌日から一定期間ホームページでも公開している。過去問題は、当協会が編集・発行している『仏検公式ガイドブック』において掲載している。また、平成27年度より過去問題サンプルとして2008年度に実施された1次試験全級の筆記試験問題および書き取り・聞き取り試験の音声ホームページにて公開し、受験者の学習の一助となっている。	A	

【評価の視点】 検定試験の結果が、学習成果を示す指標として社会に適切に評価され、実際に活用されるため、検定事業者等において活用促進に向けた適切な取組を進めていること。						
4 検定結果の活用促進	検定結果の活用促進	34	○検定試験の結果を証明する合格証や認定証等が発行されている。	合格者全員に合格証書を無料で当該回に限り発行している。 また、受験者からの申請に基づき、有料で合格証明書を発行している。 各級の試験で特に優秀な成績を収めた受験者を対象として年1回成績優秀者表彰を行っている。文部科学大臣賞、フランス大使館賞、全国検定振興機構理事長賞の他、フランス語圏と関わりの深い機関・企業からの協賛を得た各賞を授与することにより、検定で得た技能の社会的認知度を高め、かつ更なる学習の継続向上を促進している。また、2013年度より文部科学大臣賞団体賞の創設が認可され、仏検を通じたフランス語教育への優れた取り組みを行う団体(大学・高等学校・中学校・小学校・各種学校)を奨励する制度を整備している。	A	
		35	○合格証や認定証等が発行されている場合には、受検者が獲得した又は保持している知識・技能の内容が一見して判断し得る記載がある。	合格証書および合格証明書には、合格者名、受験級、年度、季、認定日等が記載されている。また、それぞれのサンプルPDFをホームページで公開している。  <a href="http://apefdapf.org/dapf/cheminement/examens-resultats">http://apefdapf.org/dapf/cheminement/examens-resultats</a> <a href="http://apefdapf.org/dapf/attestation/demande">http://apefdapf.org/dapf/attestation/demande</a>	A	
		36	○試験結果の活用に係るニーズを把握するための取組(受検者や利用者(学校・企業等)に対するアンケート調査等)が行われている。	インターネット申込を利用する受験者を対象として出願時のWEBアンケートを毎季実施し、受験の動機や目的等の把握に努めている。また、数年おきに全国の大学教員を対象に「仏検単位認定についてのアンケート」を実施し、結果は主に内部資料として教員向けに公表しているが、今後は広く一般にも公開し、受験者のニーズに応えていく。	A	

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等	
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価		
5 継続的な学習支援	【評価の視点】 受検者の継続的な学習を支援するため、検定事業者等において適切な取組を進めていること。					
	継続的な学習支援	37	○段階的・継続的な学習をサポートする過去問題、類似問題などの参考となる資料が提供されている。	『仏検公式ガイドブック』を発行し、過去数年分の問題を大問、小問ごとにまとめ、傾向と対策を詳しく解説した第1部と直近年度の問題に解説・解答を付した第2部の2部構成とし、受験者の継続的なフランス語学習を効果的に支援している。	A	受験者の学習意欲促進のため、より綿密な受験者個々の知識・技能レベルに関する情報を提供する。
		38	○学習意欲の促進のため、受検者の知識・技能レベルなどの情報を提供している。	試験終了後に郵送する結果通知では、受験者の得点、合格基準点、合格率を公表している。また、インターネット出願者を対象としたアンケートの結果を公開することで、学習意欲の向上および学習に関する情報共有の場を提供している。 ・学習意欲促進のため、受験者の学習体験記を募り、「合格者の声」としてホームページで公開している。 ・2013年度より1級合格者は政府観光局が実施する「通訳案内士」外国語筆記試験(フランス語)が免除されており、以来制度の活用実績が上がっている。検定活用の1つのモデルルートとして、今後もいっそうの普及に努める。	B	



大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等		
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価			
6 情報公開	【評価の視点】 学習者や利用者(学校・企業等)に対して、パンフレットやインターネット等を活用して、検定試験の実施主体や目的、内容、規模等に関する情報が公開されていること。						
	1 実施主体	① 組織	○実施主体の「組織」に関する情報が公開されている。	ホームページ「情報公開」のページで下記の情報を公開している(組織図、事務処理体制を除く)。 <input checked="" type="checkbox"/> 公開( <input checked="" type="checkbox"/> web、 <input type="checkbox"/> パンフレット、 <input type="checkbox"/> 募集要項、 <input type="checkbox"/> その他)…組織の理念・目的 <input checked="" type="checkbox"/> 公開( <input checked="" type="checkbox"/> web、 <input type="checkbox"/> パンフレット、 <input type="checkbox"/> 募集要項、 <input type="checkbox"/> その他)…組織規定(定款・寄付行為等) <input checked="" type="checkbox"/> 公開( <input checked="" type="checkbox"/> web、 <input type="checkbox"/> パンフレット、 <input type="checkbox"/> 募集要項、 <input type="checkbox"/> その他)…組織体制(組織図、役員構成、事務処理体制等) <input checked="" type="checkbox"/> 公開( <input checked="" type="checkbox"/> web、 <input type="checkbox"/> パンフレット、 <input type="checkbox"/> 募集要項、 <input type="checkbox"/> その他)…組織内容(事業計画書、事業報告書等) <input checked="" type="checkbox"/> 公開( <input checked="" type="checkbox"/> web、 <input type="checkbox"/> パンフレット、 <input checked="" type="checkbox"/> 募集要項、 <input type="checkbox"/> その他)…問合せ窓口(電話番号、電子メールアドレス等) <input type="checkbox"/> 公開( <input type="checkbox"/> web、 <input type="checkbox"/> パンフレット、 <input type="checkbox"/> 募集要項、 <input type="checkbox"/> その他)…その他( )	A	定期的なアップデートを心がけ、公益財団法人として適正な情報の公開を促進する。	
		② 財務	○実施主体の「財務」に関する情報が公開されている。	ホームページ「情報公開」のページで下記の情報を公開している(外部委託等の状況は除く)。 <input checked="" type="checkbox"/> 公開( <input checked="" type="checkbox"/> web、 <input type="checkbox"/> パンフレット、 <input type="checkbox"/> 募集要項、 <input type="checkbox"/> その他)…財務経理情報(収支計算書、貸借対照表、財産目録等) <input type="checkbox"/> 公開( <input type="checkbox"/> web、 <input type="checkbox"/> パンフレット、 <input type="checkbox"/> 募集要項、 <input type="checkbox"/> その他)…外部委託等の状況について <input type="checkbox"/> 公開( <input type="checkbox"/> web、 <input type="checkbox"/> パンフレット、 <input type="checkbox"/> 募集要項、 <input type="checkbox"/> その他)…その他( )  【該当項目がある場合】 <input type="checkbox"/> 公開( <input type="checkbox"/> web、 <input type="checkbox"/> パンフレット、 <input type="checkbox"/> 募集要項、 <input type="checkbox"/> その他)…検定事業とその他の事業との関係	A		定期的なアップデートを心がけ、公益財団法人として適正な情報の公開を促進する。
		③ 方針等	○実施主体の「情報公開や個人情報保護の方針等」に関する情報が公開されている。	ホームページ「個人情報の取扱い」のページで公開している。 <input checked="" type="checkbox"/> 公開( <input checked="" type="checkbox"/> web、 <input type="checkbox"/> パンフレット、 <input type="checkbox"/> 募集要項、 <input type="checkbox"/> その他)…情報公開の方針 <input checked="" type="checkbox"/> 公開( <input checked="" type="checkbox"/> web、 <input type="checkbox"/> パンフレット、 <input type="checkbox"/> 募集要項、 <input type="checkbox"/> その他)…個人情報保護の取組(方針等) <input type="checkbox"/> 公開( <input type="checkbox"/> web、 <input type="checkbox"/> パンフレット、 <input type="checkbox"/> 募集要項、 <input type="checkbox"/> その他)…その他( )	A		

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価	
6 情報公開	2 実施内容	① 目的	○検定試験の「目的」に関する情報が公開されている。 ホームページ、受験要項等で公開している。  ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…検定試験の目的(コンセプト) ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他( )	A	
		② 内容	○検定試験の「内容」に関する情報が公開されている。 ホームページ、受験要項等で公開している。  ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…検定試験の領域(分野) ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…特色 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…検定試験の対象者(受検資格等) ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…試験範囲 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…難易度(合格率等) ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他( )  【該当項目がある場合】 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…学校教育・職業能力との関係性 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…学習指導要領等への準拠の有無	A	
		③ 手段	○検定試験の「手段」に関する情報が公開されている。 ホームページ、受験要項等で公開しているが、詳細についてはホームページに掲載。  ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…検定試験の測定手法(筆記試験(多岐選択式、記述式等)、CBT試験、実技試験、面接試験等) ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…審査・採点基準やその変更点 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…試験問題の作成方法 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…合格点・設問別配点等 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…講座受講の必要性及び関連情報(必要経費・受講時間数等) ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他( )	A	

大項目	中項目	小項目			中項目別実態・課題・改善の方向性等	
		評価項目	実績・理由・特記事項等	評価		
6 情報公開	3 実施手続	① 事前準備	○検定試験の「事前準備」に関する情報が公開されている。	個人受験ならびに海外受験について、事前準備から受験、結果通知までの流れを公開している。  ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…受験手続(実施規則・要綱等) ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…出願期間・出願方法 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…受検料及び受検料以外に要する費用(合格証や認定証の発行手数料、登録料等) ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他( )	A	
		② 試験実施	○検定試験の「試験実施」に関する情報が公開されている。	事前に天災や感染症等により実施が不可能となったケースではホームページで対応を案内している。障がい者への配慮措置に関しては、個別対応を旨とするため、事務局へ連絡をいただくよう案内している。  ☑公開(☑web、☐パンフレット、☐募集要項、☑その他)…天災や交通機関遅延等への対応方針 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…障がい者への配慮措置 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他( )	A	
		③ 事後対応	○検定試験の「事後対応」に関する情報が公開されている。	過去の試験問題と正答に関しては、出版物『仏検公式ガイドブック』の中で詳細な解説を加え掲載しており、受験者の継続的な学習を支援している。  ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☑その他)…試験結果に関する一般情報(受検者数及びその構成(年齢別、業種別等)、合格者数、合格率等) ☑公開(☑web、☐パンフレット、☐募集要項、☑その他)…試験結果に関する一般情報(経年) ☑公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☑その他)…試験問題と正答 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他( )	A	
	4 検定結果の利用促進	○「検定結果の利用促進」に関する情報が公開されている。	合格証書や合格証明書の発行に関する記述は、ホームページおよび受験要項で行っている。ホームページではPDFファイルでの見本を公開している。  ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他) 合格証や認定証等 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他) 検定試験の結果活用に関する情報(学校・企業等での利用状況、合格者の活躍状況等) ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他) その他( )	A	優遇措置に関する受験者に有益な情報の提供を促進する。	
	5 継続的な学習支援	○検定試験の「継続的な学習支援」に関する情報が公開されている。	「仏検審査基準」の一部を受験要項にて、詳細をホームページで公開している。また、学習進度に合わせて級別に発行されている『仏検公式ガイドブック』を紹介している。  ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…各級等の設定(上位級との関係等) ☑公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☑その他)…過去問題・類似問題等の情報 ☑公開(☑web、☐パンフレット、☑募集要項、☐その他)…必要となる学習内容、合格までの標準的な学習時間 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…類似試験の有無や関係性・受検者(不合格者)の現状の知識 ☑公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…技能レベル ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…関連する学習機会に関する情報 ☐公開(☐web、☐パンフレット、☐募集要項、☐その他)…その他( )	A		